



ゴールデンウィーク前半が終わりました。お子さんが小さいと片付かず、出掛けても疲れる・・・と思われるかもしれませんが、おにぎりだけ持って公園に行くこと、シロツメグサで冠を作ったこと、タンポポや草で笛を作ったこと、レジャー施設に出掛けなくてもこの時期ならではの経験もあるかと思えます。保護者の方も一緒に「おもしろいね」「やってみよう」としていただけたらうれしいです。

今回は、本年度の具体的な取組「① 幼児の思いや姿から成長につながるような義務教育学校との交流を行う」についてお知らせします。春の遠足は雨で中止としましたが、代わりに、4・5歳児は、隣にあるアクティブキャンパスに探検に行きました。これからも、幼児が児童や生徒・施設に親しみや憧れの気持ちをもったり一緒に活動することでより意欲をもって日々の遊びを進めたりすることができるような交流となるようにしていきたいと思えます。

本年度の具体的な取組

- ① 幼児の思いや姿から成長につながるような義務教育学校との交流を行う。
- ② 幼児が「やってみたい」と思うような遊びの環境をつくり援助を行う。
- ③ 基本的な生活習慣が身に付くように「きらきらカード」の活用や指導を行う。
- ④ 友達や異年齢児と関わり、互いの思いに気付くような「ピア・サポート」の実践を行う。
- ⑤ 昭和の自然に触れる園外保育を実施する。
- ⑥ 地域の方の協力を得て野菜を育てたり、行事をしたりする教育を行う。



渡り廊下を通過してアクティブキャンパスへ



職員室であいさつをします。「探検をさせてください」「ジェラ先生がいる～。Good morning」



2階から下を見て「あ～幼稚園だ」「はな組さんおるかな？」



図書室。司書の先生「絵本を見てもいいですよ」好きな絵本を見つけて読みました。



「交流ルーム」小学校の机に大興奮。「ここが私の机」



チョークを持って好きな物を表現。かいたり消したりできることが楽しいようです。



交流ルームで弁当。「シートで食べた～い」弁当はおいしかったね。

きりとりせん

読まれた感想・ご意見などありましたら教えてください。園長だより2 ()組 園児名()